

OTOsuite
ユーザーガイド

文書No. 7-50-1280-JA/08
品番 7-50-12800-JA



著作権表示

© 2012, 2018 GN Otometrics A/S. 不許複製。® Otometrics、Otometricsアイコン、AURICAL、MADSEN、Otoscan、ICS、およびHORTMANNはアメリカ合衆国およびその他の国におけるGN Otometrics A/Sの登録商標です。

バージョンリリース日

2018年09月25日 (199173)

技術サポート

購入元へご連絡ください。

目次

1	説明	4
2	用途	4
3	インストレーション	5
4	OT0suiteでのナビゲーション	6
5	OT0suiteからデータを保存	6
6	OT0suiteの起動	7
7	OT0suiteにおける患者の選択と作成	8
8	テストタイプを選択	9
9	コントロールパネルを有効化	9
10	テスト耳を選択	9
11	表示設定と測定設定の変更、保存、ロード	10
12	圧縮されたダイアログを表示	12
13	トーン聴力図の手動入力	12
14	OT0suiteを構成	12
15	リモートサポートを受ける	17
16	OT0suiteからテスト結果を印刷	18
17	その他の参照情報	22
18	製造メーカー	22
19	警告の注記	22
20	記号の説明	23

1 説明

OTOsuiteは一連のヒアリングテストと補聴器フィッティング機能を結果のレビューとレポート機能とともに1つの強力なPC アプリケーションに統合したソフトウェアツールです。

1.1 Noah/OTObase

OTOsuiteは次と統合されます：

- ・ Noahシステム
- ・ Noahと互換性のあるシステム
- ・ OTObase

NoahとOTObaseは顧客を管理し、ヒアリングテストアプリケーションやフィッティングソフトウェアを実行し、聴覚テスト結果を保存するための製品です。OTOsuiteはNoahまたはOTObaseを使用したテスト結果を保存します。

NoahシステムはHIMSA製品です。OTObaseOtometricsからの製品です。

注記 ・ この取扱説明書のNoah/OTObaseについての記載は、Noahの互換システムにも適用されます。

1.2 Otometrics テストデバイス

OTOsuite はOtometricsによって製造されたテストデバイスとともに稼働するように設計されています。

この取扱説明書ではOTOsuiteの一般機能について説明します。OTOsuiteにおけるテストデバイスと特定のテストモジュールに関連した取扱説明書とオンラインヘルプも参照してください。

注記 ・ 取扱説明書とオンラインヘルプにあるデバイスの一部は、国によりご用意できない場合があります。

2 用途

ユーザー： オーディオロジスト、補聴器ディスペンサー、ENT、スピーチセラピストなどの広い範囲のヘルスケア専門家 個別のテストモジュールやデバイスに関する取扱説明書も参照してください。

用途： 個別のOTOsuiteテストモジュールの統合

2.1 書体による表記について

警告、注意および注記の使用について

デバイスまたはソフトウェアの安全と適切な使用についての情報を強調するため、マニュアルには次のような警告文を使用しています。

警告 ・ ユーザーまたはベビーに対して、死亡や重傷を負う危険性があることを示しています。

注意 ・ ユーザーまたはベビーに対して傷害を招く危険性、あるいはデータや装置に対して損傷を招く危険性があることを示しています。

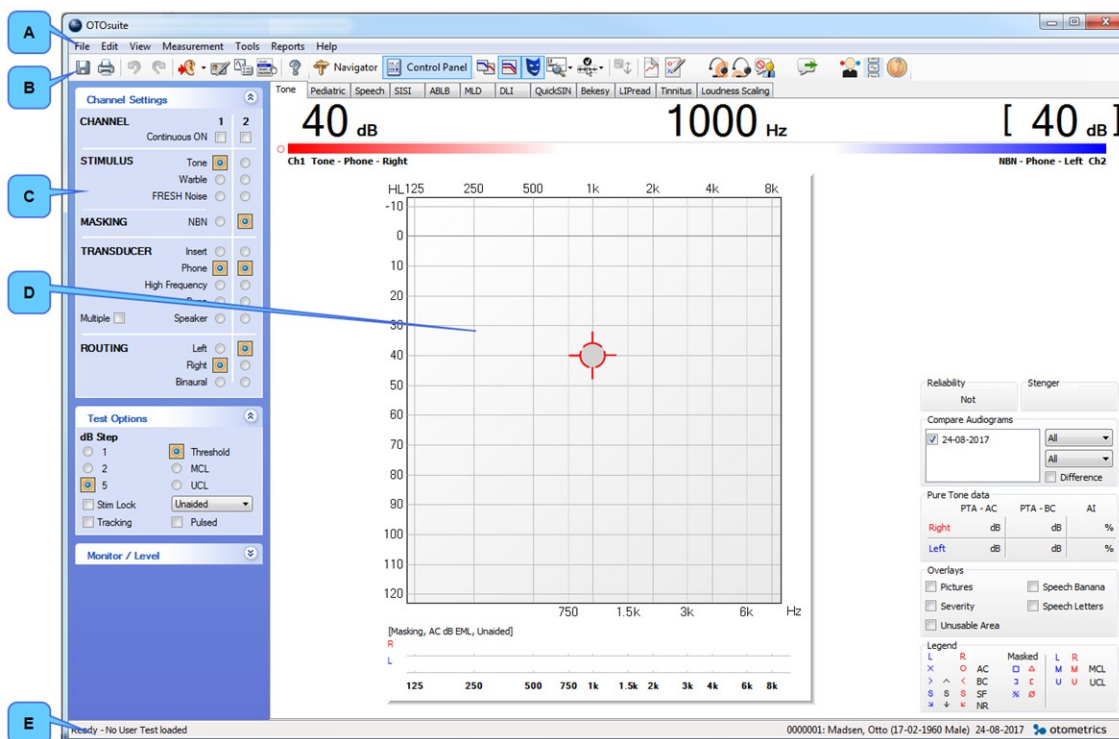
注記 ・ ユーザーは特別な注意を払う必要があることを示しています。

ユーザードキュメンテーションの無料配布を受けるには、Otometrics (www.otometrics.com) までご連絡ください

3 インストール

OT0suiteのインストールの説明は、OT0suite インストールメディアの OT0suite インストール ガイドを参照してください。

4 OTOsuiteでのナビゲーション



- A. メニューバー
- B. OTOsuiteツールバー
- C. ナビゲーション／コントロールパネル
- D. 作業エリア
- E. ステータスバー

5 OTOsuiteからデータを保存

OTOsuiteは、スタンドアロンモードで、またはNoah/OTObaseと共に稼働できます。

Noah/OTObase

OTOsuiteがNoah/OTObaseに接続されている場合は、Noah/OTObaseデータベースにテスト結果を保存することができます。

スタンドアロンモード

スタンドアロンシステムとしてOTOsuiteを稼働した場合、Noah/OTObaseデータベースにデータを保存することはできません。スタンドアロンバージョンでのOTOsuiteの測定データは、XML互換フォーマットであるGNDで保存されています。このフォーマットはどのインターネットブラウザでも読むことができます。

6 OT0suiteの起動

OT0suite を立ち上げる方法は、OT0suiteの実行方法によって異なります。

- ・ Noah/OT0baseと併用
- ・ スタンドアロンモード

Noah/OT0baseデータベースとの接続

OT0suiteをNoahまたはOT0baseと共に起動する方法はOT0suiteの設定により異なります。

OT0suiteを直接起動する

1. PCのデスクトップまたはWindows スタートメニュー（すべてのプログラム > Otometrics > OT0suite）のOT0suiteアイコンをクリックします。
NoahまたはOT0baseの被検者ブラウザが表示されます。
2. 被検者を選択します。OT0suiteが実行されNoahまたはOT0baseデータベースに接続されます。

NoahまたはOT0baseの「Module Selection（モジュール選択）」から起動する

1. NoahまたはOT0baseを立ち上げます。
2. NoahまたはOT0baseのモジュール選択で、開きたいOT0suiteモジュールをクリックして選択します。

NoahまたはOT0base測定から起動する

1. NoahまたはOT0baseを起動し、測定を選択します。
OT0suiteは測定の表示に最も適したモジュールで開きます。

スタンドアロン

次の状況では、OT0suiteをスタンドアロンモードで実行することができます。

- ・ PCにはNoahもOT0baseもインストールされていません。
- ・ OT0suiteはNoah/OT0baseのPCにインストールされていますが、Noah/OT0baseデータベースに接続されていません。Noah/OT0baseデータベースへの接続方法についてはOT0suite インストール ガイドを参照してください。

OT0suiteをスタンドアロンモードで起動する

1. PCのデスクトップのOT0suiteアイコンをクリックし、OT0suiteを起動します（先にショートカット作成が必要なこともあります）。



または

2. Windowsスタートメニュー（すべてのプログラム > Otometrics > OT0suite）のOT0suiteアイコンをクリックしてOT0suiteを起動します。



7 OT0suiteにおける患者の選択と作成

テストを実施して測定結果を保存するとき、現在の患者に関連した測定結果が自動的に保存されます。

NoahまたはOT0baseで OT0suite を稼働させる場合は、Noah/OT0baseで患者を選択して作成します。NoahまたはOT0baseでOT0suiteを立ち上げるときに患者を選択する方法については、[OT0suiteからデータを保存 ▶ 6](#)を参照してください。

Noah/OT0baseでOT0suiteを稼働中に患者を切り替え

OT0suiteをNoah/OT0baseで稼働中、OT0suiteを閉じずに患者を変更することができます。新規の患者を選択するには:

1. **ファイル > 新しいセッション** をクリックします。
Noah/OT0base被検者マネージャーウィンドウが開きます。
2. 患者を選択します。
現在の患者セッションが閉じ、新しいセッションが現在のOT0suiteテスト画面で開きます。

患者をスタンドアロンモードで作成

スタートアップ時	OT0suiteをスタートアップするとき、 被験者詳細 ダイアログボックスが自動的に示されます。
患者間	次の患者のOT0suiteを準備するとき、 ファイル > 新しいセッション を選択すると、 被験者詳細 ダイアログボックスが表示されます。
患者データが使用される場所	被験者詳細 ダイアログボックスの患者データは、印刷されたレポートで使用されません。 被験者詳細 ダイアログボックスに入力するコメントを印刷レポートに表示するかどうかは選択可能です。

患者をスタンドアロンモードで選択

既存の患者を選択するには、その患者の以前の測定を開きます (**ファイル > 開く**)。

患者の詳細を編集してコメントを追加



被験者の詳細を編集するには、**被験者詳細**の**編集**アイコンをクリックします (**Crtl + D**)。

スタンドアロンモード:

患者データの入力、また現在のセッションに関するコメントの入力ができます。

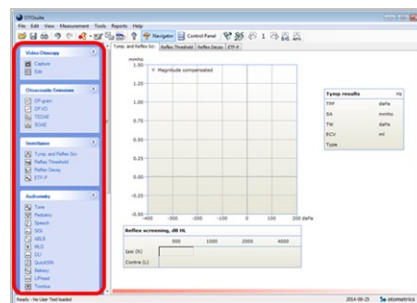
Noah/OT0baseから:

Noah/OT0baseからOT0suiteを起動した場合、患者詳細はNoah/OT0baseから取得され、データはOT0suiteでは編集できません。しかし、**コメント**ボックスにコメントを追加し、現在のセッションとともにNoah/OT0baseに保存することができます。

8 テストタイプを選択

1. OTOsuiteに含まれるテスト間を移動するには、ツールバーにあるナビゲーターアイコンをクリックします。

ナビゲーションパネルがスクリーンの左側に表示されます。



2. 実行するテストを決定します。



9 コントロールパネルを有効化



1. ツールバーのコントロールパネルアイコンをクリックします。

2. コントロールパネル がスクリーンの左側に表示されます。





コントロールパネルを使用すると、テストパラメータと関連するテストデバイスをコントロールできます。各テストの説明はリファレンスマニュアルに記載されています。

10 テスト耳を選択

耳の選択ツールバーアイコンは、現在選択されている耳について表示します。耳の選択アイコンをクリックして、他の選択を切り替えます。

選択はグラフフレームのカラーおよび/またはテストグラフのカーブによって指示されます。

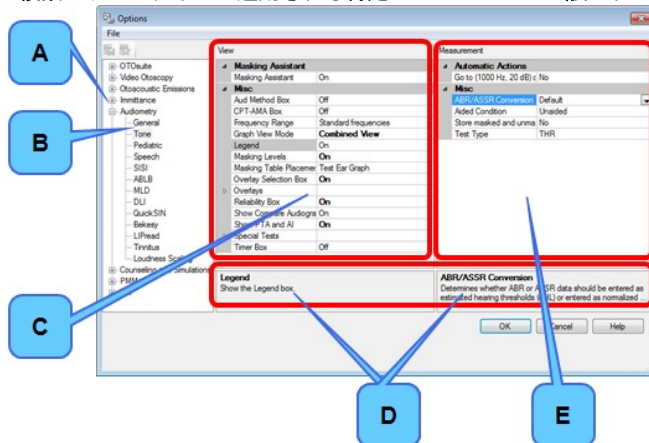
- ・ 右耳のデータは **赤** で示されます。
- ・ 左耳のデータは **青** で示されます。

耳の選択アイコン	
	・ なし 特定の耳が選択されていません。
	・ 左耳
	・ 右耳
	・ 両側 両耳が選択されています。

11 表示設定と測定設定の変更、保存、ロード

1. OTOsuiteの表示設定と測定設定の全てを確認するには **オプションを設定** アイコンをクリックします。

オプションダイアログボックスで変更可能な設定は、各テストタイプに特有のものですが、テストモジュールの複数のテストタイプに適用される特定のモジュールの**一般**セクションに表示される設定は除きます。





- | | |
|-------------|----------|
| A. テストモジュール | D. 説明を設定 |
| B. テストタイプ | E. 測定設定 |
| C. 表示設定 | |



2. 設定変更を行うテストモジュールとテストタイプを選択します。
 - 表示設定は、グラフの外観を定義し、画面上にテスト結果を表示するための他のツールを定義します。

- **測定設定** は、テスト手順の実行方法を決定するテストパラメータを定義します。設定の詳細な説明は、ダイアログボックスの底にあるフィールドに表示されます。

11.1 オプション ダイアログで設定を保存

アイコン	ファイルメニューの選択	
	ファイル > ユーザーテストを保存	<ul style="list-style-type: none"> ・ クリックすると、現在のオプションをユーザーテストとして保存します。 <p>注記 ・ ユーザーテストは1つのテストモジュールのみに適用される設定です。</p> <p>注記 ・ テストは、設定ウィザードで選択したオプションに従って、共有フォルダーまたはマイスイートフォルダーに保存されます。</p>
	ファイル > オプションを起動設定として保存	<ul style="list-style-type: none"> ・ クリックすると、現在の設定をOT0suiteのスタートアップ設定として保存します。 <p>注記 ・ インストール毎に、スタートアップ設定ファイルが1つだけあります。コンピュータを共有するユーザーはスタートアップ設定も共有します。スタートアップ設定は、複数のコンピュータで共有することもできます（共有フォルダーがネットワークドライブ上にある場合など）。</p>
	ファイル > OT0suite出荷時デフォルトをロード	<ul style="list-style-type: none"> ・ クリックすると、全ての設定をデフォルト設定にリセットします。

ユーザーテストを作成

1. コントロールパネル設定を実行します。
2. **ツール > オプション** を選択し、ユーザーテストを作成するモジュールやテストタイプを表示します。
3.  **ツール > オプション > 一般**、**ツール > オプション > “テストモジュール”**、“テストタイプ” の下の全ての設定を確認します。作成するユーザーテストの設定を任意の値に定義します。
4.  **ユーザーテストを保存**アイコンをクリックします。
5. 他のユーザーが設定にアクセスできないようにするには、**共有フォルダーにファイルを保存** チェックボックスを選択解除します。**OK**をクリックします。
6. 自分で選択した名前の下でユーザーテストを保存します。

11.2 テスト設定またはユーザーテストをロード

テストセクターを使用すると、ソフトウェアに特定の設定を適用するテストセットアップをロードできます。



OT0suite の構成に含まれるテストモジュールでは、事前設定された特別なテストを利用できます。自分または同じワークステーションの他のユーザーにより定義されたユーザーテストを選択することもできます。

12 圧縮されたダイアログを表示

ダイアログボックスのダイアログをこれ以降表示しないのフィールドをクリックしても、この設定をキャンセルし、以前に表示を抑制した全てのダイアログがトリガー時に再度表示されるようにできます。そのためには、ヘルプ > 抑止されたダイアログを表示 をクリックしてください。

13 トーン聴力図の手動入力

PMNとカウンセリングとシミュレーションを使用すると、参照聴力図を表示できます。参照聴力図は、Noah/OT0baseのデータから取得するか、OT0suiteのトーン聴力検査のテスト画面で作成することができます。聴力図の手動入力の詳細については、OT0suiteリファレンスマニュアルを参照してください。

14 OT0suiteを構成

設定ウィザードにより、様々な特徴や機能をカスタマイズしてOT0suiteに適用する手順が示されます。

1. OT0suiteで、ツール > 設定ウィザードを選択します。
2. OT0suiteの一般的な設定については次へをクリックしてください。
3. テストデバイスを特定のモジュールに接続し、モジュール固有の機能をセットアップするには、構成するモジュールに隣接する設定...をクリックします。
 - ・ 一般的なOT0suite ユーザー設定の定義 ▶ 12.
 - ・ アプリケーションを設定 ▶ 16.

14.1 一般的なOT0suite ユーザー設定の定義

アプリケーション

1. ナビゲーションパネルのテストモジュールを表示または非表示にするには、モジュール名の左のチェックボックスをオンまたはオフにします。（モジュールは少なくとも1つは選択されている必要があります）。

イニシャル**スタンドアロン**

これらの初期設定は**被験者詳細**ダイアログボックスで表示されます。

Noah/OTObaseから

Noah/OTObaseユーザーに関して入力された初期設定はOTOsuiteで自動的に適用されます。

「被験者」を示す用語は

- ・ OTOsuite全体で使用する用語を選択します。

使いたい言語

- ・ ユーザー選択言語を設定します。
言語設定を変更する場合は OTOsuiteを再起動します。

ファイル保存に関するユーザー設定

注記・ ファイル保存に関する設定ウィザードの設定は、スタンドアロンシステムとしてOTOsuite に適用されません。

共有フォルダーの位置

- ・ 共有データのフォルダーパスを入力します。
ネットワークでユーザーとデータを共有する場合、このフォルダーにはシステム管理者によって実行される特定のネットワーク設定が必要です。

カスタマイズレポートの位置

- ・ カスタマイズレポートのフォルダーパスを入力します。
ネットワークでユーザーとデータを共有する場合、このフォルダーにはシステム管理者によって実行される特定のネットワーク設定が必要です。

測定結果を共有フォルダーに保存

- ・ このオプションを選択すると、測定データが他のユーザーと共有されます。
- ・ このオプションを選択解除すると、データは自分だけがアクセスできる個人のフォルダーに保存されます。

新しいセッションを開始するときに患者の詳細を表示

このオプションを選択すると、新しいセッションが始まるときに**被験者詳細**ダイアログボックスが自動的に開きます。

テストモジュールを変更するときに保存するかどうかを確認

- ・ このオプションを選択すると、測定結果を保存せずに他のテストモジュールに変更する場合にデータを保存するかどうかを確認されます。

保存したファイルのファイル名を自動生成

- ・ このオプションを選択すると、システムにより生成されたファイル名でデータが保存されます。ファイルは日付とタイムスタンプで命名され、主としてサードパーティのデータ管理システムで使用されません。
- ・ このオプションを選択解除すると、自分でファイル名を定義することができます。

コントロールパネルを有効化

- ・ このオプションを選択すると、OTOsuite が立ち上がった時にコントロールパネルが起動します。

測定結果のバックアップ

- ・ このオプションを選択すると、OTOsuite の測定結果がOTOsuiteの失敗に備えてリストアされます。OTOsuiteを立ち上げるときに、これらの測定結果を再ロードするように求められます。

保存時に測定に関する説明についてのプロンプト

- ・ このオプションを選択した場合、保存時に測定に関する説明がプロンプト表示されます。

使用統計ツールの使用

匿名の使用統計を許可

- このオプションを選択すると、OTOsuite 使用統計が収集されてOtometricsへ送られます。

設定の共有

全ユーザー共有設定

- このオプションを選択すると、現在システムを使用しているユーザーが行った個人設定が同じPC上のすべてのOTOsuiteユーザーに適用されます。
- このオプションの選択を後で解除した場合、他のユーザーに適用されていた以前の個人設定が復元されます。

14.2 測定結果をNoahに保存する時にコメントを追加

保存時に測定に関する説明についてのプロンプト

このオプションが選択されると、カスタム説明を追加するように求められます。この説明は、OT0suiteで生成された標準的な説明やNoah/OT0baseまたは他のオフィス管理システムでのアクションの説明として表示される標準的な説明とともに表示されます。

カスタム説明は、所定の時間に保存された全ての測定結果に適用される点に注意してください。各タイプの測定で異なる説明を使用するには、各タイプの測定が終了したときに保存を行う必要があります。

14.3 設定ウィザードの 被験者詳細 画面

OT0suiteはサードパーティの被検者管理システムと統合して患者の詳細データを交換することができます。

いいえ、OT0suiteまたはNoahと互換性のあるシステム（デフォルト）に患者の詳細を入力します。

OT0suiteがサードパーティの被検者管理システムと統合されていない場合、またはNoahとともに使用されている場合は、このボタンをクリックします。

はい、Noah と互換性のない患者管理システムから患者の詳細データを使用します。

OT0suiteと患者の詳細データを交換するために特別に設計された、Noahと互換性のない被検者管理システムを持っている場合は、このボタンをクリックする必要があります。

OT0suite はその後、次のファイルからスタートアップの患者詳細データを読み込みます。

```
%ALLUSERSPROFILE%\Application Data\GN Otometrics\actors.config
```

次のパラメーターがファイルからロードされます。患者ID、姓、名、誕生日、性別、コメント、ユーザーの頭文字

フォーマットは次の制限と適合している必要があります。

- ・ 患者ID、姓、名の最大の長さはそれぞれ50文字です。
- ・ 誕生日は YYYY-MM-DD（例：1975-02-22）の形式である必要があります。
- ・ 性別は「不明」、「男性」か「女性」のいずれかである必要があります。
- ・ コメントの最大長は32767文字です。
- ・ ユーザーの頭文字は3文字以下である必要があります。

14.4 設定ウィザードのNoah/OT0base画面

注記 ・ 以下は、PCIにNoahまたはOT0baseがインストールされている場合にのみ適用されます。

起動時にOT0suiteをデータベースに接続します

OT0suiteをNoahまたはOT0baseから直接起動したかどうかにかかわらず、OT0suiteを設定してNoahまたはOT0baseデータベースに自動接続できます。

1. OT0suiteで、**ツール** > **設定ウィザード**を選択します。
2. Noah/OT0base画面が開くまで、**次へ**をクリックします。
3. **起動時にOT0suiteをデータベースに接続オプションを有効にします**
使用可能なデータベースが下に表示されます。
4. 接続するデータベースを選択します。
5. OT0suiteを再起動して選択を有効にします。

OT0suite以外のモジュールをNoahまたはOT0baseから起動する

OT0suite以外のモジュールをNoah/OT0baseから起動すると、OT0suiteを強制終了します。OT0suiteを設定して、プロンプトなしで閉じることができます。

OT0suiteに未保存のデータがある場合、OT0suiteが閉じる前にデータを保存するかどうかを確認されます。

1. OT0suiteで、**ツール** > **設定ウィザード**を選択します。
2. Noah/OT0base画面が開くまで、**次へ**をクリックします。
3. **OT0suite以外の測定モジュールを起動すると、OT0suite は自動的に閉じます。（未保存のデータがある場合は保存するかどうかを確認されます）**。オプションの有効化

FastViewを有効化（Noah/OT0baseでサポートされる場合）

FastViewデータは、NoahまたはOT0baseで保存することができます。このオプションを使用すると、個々のモジュールをデータ保存場所から起動することなく、データの要約をすばやく閲覧または表示できます。

1. OT0suiteで、**ツール** > **設定ウィザード**を選択します。
2. Noah/OT0base画面が開くまで、**次へ**をクリックします。
3. オプション**FastView**を有効化を選択します。

14.5 アプリケーションを設定

設定ウィザード - アプリケーション画面で、ナビゲーションパネルに表示されたアプリケーションモジュールを選択できます。各アプリケーションモジュールに関する設定ウィザードを立ち上げると、モジュールを構成し、関連するデバイスを接続できます。

詳細情報については、関連するモジュールのリファレンスマニュアルを参照してください。

デモデバイスの選択

デモンストレーションの目的で、さらにOT0suiteに慣れるため、いくつかのOT0suite モジュールから現実のテストデバイスの代わりにデモデバイスを選択することができます。選択したデモデバイスで、現実のテストデバイスを使用せずに広い範囲のタスクとシミュレーションテストを試行することができます。

注記 ・ モジュールによっては、デモデバイスを提供していない場合があります。

デモデバイスを選択するには：

1. **ツール** > **設定ウィザード** を選択します。
2. デモデバイスを使用するモジュールに隣接する**設定...**をクリックします
3. テストデバイスを接続する画面で、デモデバイスを選択します。
4. **終了**をクリックし、設定ウィザードを終了します。

ワイヤレスデバイスを接続

FreeFit や OTOflexのようなデバイスはOTOsuiteにワイヤレス接続できます。ワイヤレス接続には、OtometricsのOTOair DongleまたはOTOsuiteによってサポートされた標準のBluetoothスタックを使用できます。詳細情報については、OTOsuiteのリファレンスマニュアルを参照してください。

14.6 構成設定のエクスポートとインポート

全てのモジュールを含むOTOsuiteの全ての設定を含む、OTOsuiteの設定管理ファイルを作成できます。そして、設定ファイルを別のOTOsuiteのインストールにインポートできます。

設定ファイルをエクスポートするには

1. **ファイル** > **設定をエクスポート** をクリックします。
2. 適切なオプションを選択します。
 - 他のコンピュータを構成するために使用することができる設定のみをエクスポートします。
 - 接続ポートやデバイスの選択のようなPC固有の設定を含めます。
3. **OK**をクリックします。
4. **別名で保存**ダイアログボックスのフィールドを記入します。
5. **保存**をクリックします。

設定ファイルをインポートするには

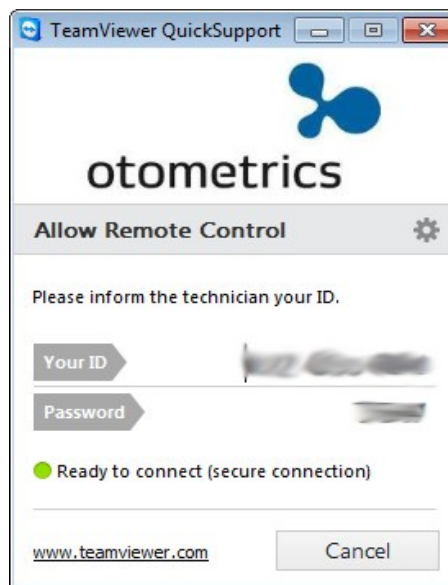
1. **ファイル** > **設定をインポート** をクリックします。
2. **開く**ダイアログで、.configファイル拡張子を持つ設定ファイルをブラウザして探します。
3. **開く**をクリックします。
4. 適切なオプションを選択します。
 - 現在のデバイスの選択を維持
 - 現在のデバイス設定を構成管理ファイルの設定で上書きします。このオプションは、構成管理ファイルが現在のコンピュータ固有のものとして作成された場合（バックアップなど）にのみ推奨されます。
5. **OK**をクリックします。

15 リモートサポートを受ける

技術者に連絡をとる必要のあるサポート状況の場合、技術者はシステムにアクセスして問題解決を図る必要が出てくる可能性があります。この目的に対応するため、TeamViewerアプリケーションがOTOsuiteに内蔵されています。

TeamViewerを開くには

1. ヘルプ > リモートサポートをクリックします。
2. サポート担当者に以下を提供してください：
 - お客様のID
 - パスワード。



16 OT0suiteからテスト結果を印刷

OT0suite. からのレポートとして結果を印刷することができます。

注記・ レポートは必ずOT0suiteから直接印刷してください。Noah の印刷機能ではOT0suite レポートは使用できません。

レポートが以前の日付で行われた測定を表示している場合は、通常、測定名の隣に測定が行われた日付が表示されます。

16.1 ページ設定

レポートのページ設定には2つの方法があります。

- ・ OT0suite REPORTSで作成または編集するレポートのページ設定：
OT0suite REPORTSでページ設定を定義します。
- ・ OT0suite標準レポートのページ設定：
OT0suiteでページ設定を定義します。

OT0suiteの標準レポートは、標準的なA4とレター形式の用紙に印刷できるようにフォーマットされています（シングルレポートは A5用紙に印刷するようにフォーマットされています）。

重要・インターネットエクスプローラの機能である「印刷プレビュー」画面で使用可能な「ページ設定」機能のページ設定への変更はできません。変更すると、インターネットエクスプローラのページ設定との競合が生じます。

ページ設定に関する変更は必ずOTOsuite REPORTSまたは、標準レポートの場合、OTOsuiteで直接実行してください。

Noah/OTObase: **OTOsuite** > ページセットアップ

スタンドアロン: **ファイル** > ページセットアップ

16.2 プリンター設定

OTOsuite は通常Windows のデフォルトプリンターを使用します。しかし、OTOsuite からの測定結果については自分で選択したプリンターで印刷することができます。

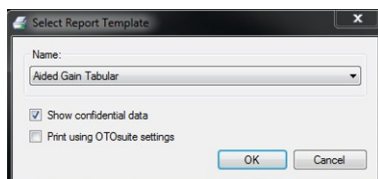
- Windows デフォルトプリンター以外のプリンターを選択する場合は、**OTOsuite** > **ページセットアップ**を選択して、**プリンタ**をクリックします。

16.3 印刷/印刷プレビュー

- プレビューを表示または印刷するには、次のいずれかを選択します。

スタンドアロン: **ファイル** > **印刷プレビュー**

Noah/OTObase: **OTOsuite** > **印刷プレビュー**



- 次に示す**レポートテンプレート選択** ダイアログボックスのフィールドを記入します。

- **名前**

デフォルトレポートの名前を表示します。ドロップダウンリストから異なるレポートを選択することができます。

- **機密データを表示**


オンにすると、個別の患者データがレポートに表示されます。

オフにすると、患者名と識別子を非表示にしてレポートを匿名で自由に配布することができます。

- **OTOsuite設定を使用して印刷**

OTOsuiteで定義した表示設定を、選択したレポートテンプレートに適用する場合は、**OTOsuite設定を使用して印刷**をクリックして有効にします。

OTOsuiteで選択したテスト結果にOTOsuite REPORTSで設定したプロパティ以外のものが表示される場合は、OTOsuiteの表示プロパティはOTOsuite REPORTSのプロパティに優先します。たとえば、OTOsuiteで写真と重症度レイヤーのある聴力図が表示される場合は、OTOsuite REPORTSテンプレートに表示をしない設定を行っても表示されます。

注記・ 選択されているテンプレートで、これらのプロパティは、OT0suite REPORTSのフォーマットパネルのシンボルで示されます。

- 表示するには**OK**をクリックします。保存されていないデータがあれば、印刷する前に保存するかどうかを確認されます。
 - はい**
保存されたデータと印刷されたレポートは同一のもので、再度印刷することができます。
 - いいえ**
レポートには” 予備 ” という印が付けられ、保存されたデータを必ずしも反映する必要はないことを示します。

重要・ インターネットエクスプローラの機能である「印刷プレビュー」画面で使用可能な「ページ設定」機能のページ設定への変更はできません。変更すると、インターネットエクスプローラのページ設定との競合が生じます。

- OK**をクリックします。印刷プレビューが表示されます。
- 必要に応じて、**印刷プレビュー**ツールバーで**印刷**をクリックします。

16.4 指定のレポートを印刷

- Ctrl+P**を押します。
- 次に示す**レポートテンプレート選択** ダイアログボックスのフィールドを記入します。
 - 名前**
印刷するレポートを選択します。
 - 機密データを表示**
オンにすると、個別の患者データがレポートに表示されます。
オフにすると、患者名と識別子を非表示にしてレポートを匿名で自由に配布することができます。
 - OT0suite設定を使用して印刷**
OT0suiteで定義した表示設定を、選択したレポートテンプレートに適用する場合は、**OT0suite設定を使用して印刷**をクリックして有効にします。
OT0suiteで選択したテスト結果にOT0suite REPORTSで設定したプロパティ以外のものが表示される場合は、OT0suiteの表示プロパティはOT0suite REPORTSのプロパティに優先します。たとえば、OT0suiteで写真と重症度レイヤーのある聴力図が表示される場合は、OT0suite REPORTSテンプレートに表示をしない設定を行っても表示されます。
- OK** をクリックしてレポートを印刷します。

16.5 デフォルトレポートを印刷

デフォルトレポートは、**レポートマネージャー**の**選択済みレポート**リストの最初のレポートです。



- OT0suiteツールバーの**デフォルトレポートを印刷**アイコンをクリックします。

注記・機密データを表示フィールドの最後に使用された設定が使用されます。


16.6 レポートマネージャー

レポートマネージャーを使用すると、OT0suite で利用可能なレポートテンプレートを自分で選択したリストに加えることができます。

レポートマネージャーを使用するには、**ツール > レポートマネージャー** を選択します。



選択したレポートのリストを設定

利用可能なレポート	・ 特定のデフォルトレポートテンプレートを参照するレポート名のリストが含まれます。 説明 フィールドには、選択済みレポートの説明が表示されます。
選択済みレポート	・ レポートメニューに含まれるレポートのリストです。

- ・ **選択済みレポート**リストにレポートを追加するには、**利用可能なレポート**リストでレポートを選択して  をクリックします。
- ・ **選択済みレポート**リストに追加するレポートで、手順を繰り返します。

リストの順序を再調整します。

リストの最初のレポートは、他のレポートタイプを選択しない場合に自動的に印刷されるデフォルトレポートです。

- ・ リストを並べ替えるには、レポートを選択し、希望の位置になるまで  または  の矢印ボタンをクリックします。

レポート名を変更

レポートのコピーを**選択済みレポート**リストに移動させると、レポート名を変更できます。

同じレポートのいくつかのコピーを **選択済みレポート**リストへ移動すると、これらのコピーに異なる名前を付けることができます。これは、同じレポートを違う目的で使用する場合に特に便利です。

- ・ レポート名を変更するには、レポート名を右クリックします。

選択済みレポートのリストからレポートを削除

- ・ レポートを選択して、**削除**  をクリックします。

16.7 レポートにロゴを追加

選択したグラフィックファイル (.JPG) を使用して、レポートにロゴを追加できます。

そのためには:

1. 1200x 331のピクセルサイズで、JPGファイルを作成します。
2. ロゴファイル名を次のように置き換えます。Company-Logo-1200x331-px. jpg

3. OT0suite のプログラムファイルフォルダーにファイルを保存します。インストール中に異なるパスを定義していない場合には、フォルダーは/Program Files/GN Otometrics/OT0suite/Reporting/Miscにあります。

OT0suite REPORTSで編集できるレポートにロゴを追加するには、OT0suite REPORTS ユーザーガイドを参照してください。

17 その他の参照情報

詳細情報については、OT0suiteのオンラインヘルプをご覧ください。OT0suiteや OT0suiteとともに用いられるテストデバイスに関する詳細な参照情報を得ることができます。

OT0suiteのインストール後、OT0suite取扱説明書や関連する資料はPCの中にあります。**スタートメニュー**で、**OT0suite Manuals**を開きます。すべての取扱説明書へのリンクがある概要が含まれています。

18 製造メーカー

GN Otometrics A/S
Hoerskaetten 9, 2630 Taastrup
デンマーク
☎ +45 45 75 55 55
☎ +45 45 75 55 59
www.otometrics.com

18.1 製造者責任

製造メーカーは、以下の場合にのみ、機器の安全、信頼性、および性能への影響に関して責任を負うものとします。

- ・ 全てのアセンブリの動作、拡張、再調整、修正あるいは修理は、製造メーカーによって認可されている機器メーカーもしくは担当者によって実施されている。
- ・ 機器が接続されている電気設備は、EN/IEC要件に準拠している。
- ・ 機器は、取り扱い説明に従って使用されている。

製造メーカーは、他の企業や団体によって点検または修理された機器の動作の安全性、信頼性および性能に関する全ての責任を放棄する権利を保有しています。

19 警告の注記

本ガイドには、OT0suiteを安全に使用するために守るべき情報や警告が記載されています。該当する地方自治体の条例や規制を常に守る必要があります。

OT0suite をテストデバイスと併用する場合は、テストデバイスの取扱説明書に記載される全ての情報、警告に従っていることを確認してください。

20 記号の説明



ソフトウェアプログラムが正常に動作しない場合にエラーメッセージで使用されます。ダイアログボックス内の詳細情報をご覧ください。